



防災館訪問

Life Safety Learning Center

12月2日に、研修コースでは、池袋防災館を訪れ、体験を通して、災害時の対応とともに、そのときに使える「火事だ！」などの日本語も勉強しました。学生たちは、先月、すでに大きな地震を体験したこともあり、真剣に取り組んでいました。

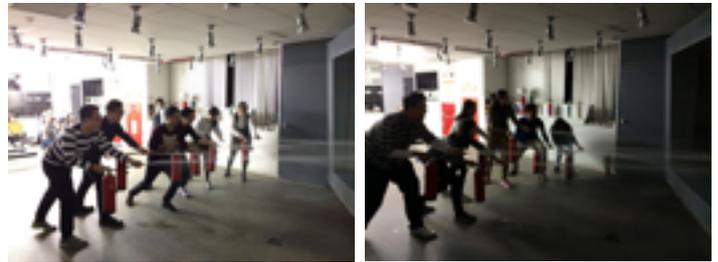
On December 2, students from kenshu course visited Ikebukuro Boosaikan (Life Safety Learning Center). Through simulation activities, in addition to what to do when disaster happens, they learnt some new Japanese phrases such as “Fire!” As they have already experienced a big earthquake last month, they engaged in the activities seriously.

せんしゅうの きんようびに Ikebukuro Life Safety Learning Centerでならいに いきました。とても たのしかったです。たくさん あたらしいものを べんきょうしました。

まず、日本の しぜんさいがいの えいがを みました。次に、しょうかきを ならったり、れんしゅうしたりしました。かさいから ひなんするの も ならいました。たとえば、「おかしも」をおぼえました。「お」は「おさない」です。「か」は「かけない」です。「し」は「しゃべらない」です。「も」は「もどらない」です。次に、じしんのシミュレーションをしました。

さいごに、いっしょに しゃしんをとりました。

(キャサリン、リン、コア、ティージェー)



先週の金曜日、ごご1時に、池袋防災館に行きました。まず、地震の発生の映画を見ました。そして、消火器の使い方をならいました。次に、火災脱出方法をならいました。そして、地震のシミュレーションをたいけんしました。さいごに、先生はみなさんのしゃしんをとりました。とても意味があつて、たのしかったです。

(ピョー、ミキ、ヴィエト、チョウ、ハオ)

Most students started learning Japanese in mid-October, so their Japanese might sound a little unnatural. We would appreciate your understanding.

せんしゅう、池袋の防災館で防災について勉強しました。地震のじゅんぴをしたり、火事からにげたりしました。たくさん れんしゅうしました。とても やくに たつと思いました。しぜんさいがいは こわいから、みなさんも いつも しぜんさいがいに きをつけたほうが いいですよ。

(シャン、タム、ピー、ピュー、ピート)

日本語教室より

最近、日本に住む外国人が多くなつてくるにつれ、その人たちとどのようにコミュニケーションをとるのかということが大切な問題となってきました。

災害時の情報提供などに特に焦点を当てた「やさしい日本語」もその一つです。先日の地震で津波警報が出たとき、テレビ画面に「すぐにげて!」「つなみにげて!」と表示が出たのを見た人もいます。

留学生には日本での生活に困らない程度の日本語は身につけてほしいと思うと同時に、この「やさしい日本語」のような意識も広がればいいなあと思う今日この頃です。